

子供のバイリンガル・日本語とロシア語 「何を、どこで、どのように教えるべきか」

「子どもをきちんと日本語とロシア語のバイリンガルに育てたいけど、どのように教えたらいいのかかわらなくて不安...」バイリンガル教育についてこのような悩みを抱えている方が増えています。第2回シンポジウム『子供のバイリンガル・日本語とロシア語』では、問題提起と多くの方の意見交換の場となった2012年の第1回よりさらに踏み込み、実践的な教育方法についての講演とディスカッションを予定しています。シンポジウムの前半ではバイリンガル教育の第一人者と評されている教育学博士 エカテリーナ・プロターソヴァ先生をお迎えします。基調講演の後には質疑応答とディスカッションの時間を設けており、疑問や悩みなどを話し合います。皆様のふるってのご参加をお待ちしています！

2013年10月6日(日) 10:00 ~ 17:30 (9:30より受付開始)

東京外国語大学 研究講義棟 115 教室

10:00 ~ 10:15 開会のご挨拶

10:15 ~ 12:15

基調講演 (ヘルシンキ大学 エカテリーナ・プロターソヴァ)

『バイリンガル教育の成功事例と失敗事例 — 家庭、幼稚園、小学校でのバイリンガルの子供』
質疑応答、ディスカッション

13:15 ~ 14:45

1. 『日本語話者の子供のロシア語発音 — 課題とその解決方法』
(外務省研修所 ガンナ・シャトーヒナ)
2. 『ロシア語と日本語の双方向の影響とバイリンガルの子供の話すロシア語での文法ミス』
(上智大学 原ダリヤ)
3. 『お子様と積極的にロシア語で話しましょう』 (創価大学 ステラ・シヴァコーヴァ)
4. 『家庭でのロシア語の継承 — 思春期の教育問題』 (ロシア語通訳 マリヤ・キリチェンコ)

15:00 ~ 16:45

グループディスカッション — バイリンガルの子供のための教材の選び方、父兄と学校教員の協力、家庭での学習方法、〈やる気〉の引き出し方、思春期の問題、学校の組織的問題、その他各種テーマに関する自由な意見交換と議論。

17:00 ~ 17:30 ディスカッションの総括と今後の展望について

シンポジウム実行委員：浜野 アーラ、マルガリータ・カザケーヴィチ、武田 エレーナ

会場へのアクセス：

JR 中央線 — 武蔵境駅で西武多摩川線に乗り換え、多磨駅まで2駅4分、多磨駅より徒歩5分 (JR 新宿駅より約40分)

京王線 — 飛田給駅下車、北口ロータリーより「多磨駅」行き京王バス乗車、「東京外国語大学前」まで約10分。

参加申し込み方法：

2013年9月23日までにメール (conference2.bilingual@gmail.com) あるいはFAX (042-677-1948) 宛ご連絡下さい。申込用紙を発送しますので、お名前とご連絡先、ご住所をお忘れなくお書き添え下さい。

主催：日本ロシア語教育研究会

〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東 8-1-1 林田研究室気付

Tel: 072-730-5317

